



①



③



②

- ①県の事業『地域のお宝物語』に参加し、活動の成果を発表する様子
 ②インターンシップで訪れた企業で仕事をする実冬さん
 ③インターンの成果発表をする様子
 ④お仕事の合間に笑顔でパシャリ



④

二本柳さんは、8月18日から9月14日までの約1ヶ月間で、業務体験やWEB・イベントのデザインを行いながら、階上町巡りをし、町の魅力を発信するという取り組みを行いました。

今回なぜ階上町を選んだのかというと「階上町のインターン先では、普段は出来ない農業体験をすることができ、PR活動をするなどの業務内容を見て、ワクワクしたからです」と、理由を話してくれました。

インターン先の“フォレスト階上”の魅力を発信するため、Instagramアカウントを開設し、産直情報や新作・期間限定のジェラート情報を発信したりと、PR活動を積極的に行ったことが伺えます。

また、今回初めて訪れた階上町について、「地元の人が温かく迎え入れて下さり、民泊の方の畑でジャガイモ掘りをしたのが楽しかったです。また、町巡りをしたり、自分がPRしたジェラートを沢山食べられてとっても幸せでした」と楽しい思い出を話してくれました。

『なぜインターンに参加しようと思ったのですか?』

大槻

「私は、このインターンを機に自分から積極的に行動できるようになりたいと思い参加しました。ワーケーションの企画をする際に地域の人とかかわる時間を大事にしたいと考えています。」と話して下さり、積極的な姿勢で地元の人とかかわる企画を考えていることを教えてくれました。

二本柳

「高校生のときから高校生事業を通じて大学生と交流する機会があり、その時からインターンに興味を抱きました。また、2ヶ月ある大学の夏休みを充実させたいと思い参加しました」と話して下さり、限られた時間を有効に活用していることを教えてくれました。

『将来の夢を教えてください』

大槻

「将来は、地域に貢献できる知識やスキルを身に付け、地方公務員になって青森県の特に人口減少が進んでいる地域での地域活性化に取り組みたいと考えています」と話してくれました。

二本柳

「英語と中国語を学びながら、地域づくりに関わる仕事に就きたいと考えています」と話してくれました。

※成果報告はP12へ